



2025年11月13日

各 位

会 社 名 株式会社サンマルクホールディングス

代 表 者 名 代表取締役社長 藤川祐樹

(コード番号 3395 東証プライム)

問 合 せ 先 取締役管理本部長 岡村淳弘

T E L (086) 246 — 0309

2026年3月期第2四半期（中間期）業績予想と実績値の差異及び 通期業績予想の修正に関するお知らせ

2025年5月13日に公表しました2026年3月期第2四半期（中間期）業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたので下記の通りお知らせいたします。また、2026年3月期通期業績予想につきまして、最近の業績動向を踏まえ修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）業績予想と実績値の差異

2026年3月期第2四半期（中間期）累計期間連結業績予想と実績値の差異(2025年4月1日～2025年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰 属 す る 中 間 純 利 益	1 株 当 た り 中 間 純 利 益
前回発表予想（A）	百万円 40,000	百万円 1,900	百万円 1,800	百万円 800	円 錢 36.56
実 績 値 (B)	43,585	2,363	2,250	1,048	48.22
増 減 額 (B - A)	3,585	463	450	248	—
増 減 率 (%)	9.0	24.4	25.0	31.1	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2025年3月期第2四半期)	32,947	1,826	1,980	1,672	81.84

2. 差異の主な理由

2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想につきましては、賃上げによる所得環境の改善ならびに好調なインバウンド需要が見込まれる一方、ロシア・ウクライナ危機の長期化をはじめとする地政学リスクの高まり、原材料・エネルギー価格の高騰、円安の影響が継続する前提のもと算定しておりましたが、インバウンド需要の拡大が想定を上回ったことに加え、各業態の既存店の競争力向上に向けた取り組みが奏功したこと、付加価値をえた商品開発による価格転嫁が進んだことにより、上半期の売上高及び各段階損益は業績予想を上回る結果となりました。

3. 2026年3月期通期業績予想の修正

2026年3月期通期連結業績予想の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	百万円 81,000	百万円 4,500	百万円 4,400	百万円 2,000	円 錢 91.40
今回修正予想（B）	88,000	5,000	4,800	2,300	107.33
増 減 額 (B - A)	7,000	500	400	300	—
増 減 率 (%)	8.6	11.1	9.1	15.0	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	70,895	3,644	3,839	2,540	123.62

4. 修正の理由

下半期においては、上記2.で触れた上半期の経営環境が継続するとの前提のもと、最近の業績の動向も踏まえ、通期業績予想を修正いたします。

※上記の予想数値につきましては、現時点で入手可能な情報および予測に基づき作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上